

食育だより



2026年(令和8年)

号外

(毎月19日は食育の日)

福山市立南小学校 栄養教諭

5年生のお米づくり、順調です

今年度、初めての取組で一緒にお米づくりをさせていただいています。5年生の社会科や総合的な学習の時間の一環でお米作りをし、収穫したお米を使って家庭科での学習や、藁を使ってSDGSの学習へつなげていく予定です。

田植えまで終わり、稲が順調に育っています。ここまでの報告をさせていただきます。

環境整備



雑草がたくさん生えていたのでみんなで草取り作業をしました。

また、保護者の方々に協力していただき、田んぼの土をたくさんいただいたり、学校技術員の方に排水パイプをきれいにしていただいたり、たくさんの方に協力していただきました。

芽出し

福山グリーンセンターの方にお米についてのお話をしていただき、芽出し作業をしました。

牛乳パックに種もみと水を入れて芽が出るのを待ちます。

種もみと肥料はJAさんに提供していただきました。



お米について

日本には現在、約300種類のお米があります。そのうち約3割は「コシヒカリ」。
なぜこんなにも種類があるのかというと、よりおいしいお米を作るために品種改良されたり、その土地の気候などによって種類が増えたりするそうです。
福山では暑さに強いお米を作らなければと、「恋の予感」という品種が作られました。暑さに弱い「コシヒカリ」は神石など比較的涼しい土地で作られています。
今回は、暑さに弱いという「コシヒカリ」を育てています。暑さが心配ですが愛情いっぱい育てていきます。

育苗・田植え



芽が出た種もみをバケツに植えていき、
苗を育てます。

植え替え(6月8日)



バケツには3~4本を残し、中心に植え直し、残りの稲は4段の花壇へ植えました。こどもたちは、タブレットで成長を記録したり、水やりしたりするなど日々のお世話を頑張っています。

